

夫婦の3組に1組が不妊を心配する時代です 皆さんの妊活を応援します

国東市不妊治療費助成制度について

市では、不妊治療を受けているご夫婦の経済的支援のため、不妊治療費を助成します。

【助成対象者】

下記のすべてに該当する方

- ① 夫婦ともに、1年以上市内に住居登録(市内に居住)している
- ② 法律上の婚姻後1年以上経過している
- ③ 医療機関が不妊症と診断し、不妊治療を受けている
- ④ 大分県特定不妊治療費等助成金(注)の給付決定を受けている

(注)

大分県の助成事業については、大分県のホームページをご覧ください。



【助成対象となる不妊治療】

医療保険適応外の特定不妊治療および人工授精

【助成額および助成回数】

特定不妊治療：上限50万円/回(1出産につき6回まで)

人工授精：上限5万円/回(通算3回まで)



【問合せ】 医療保健課 ☎0978-73-2450

大分県不妊検査費助成制度について

子どもを望むご夫婦の妊活を支援するため、不妊検査にかかる費用の一部を助成します。

【助成対象者】

- ① 検査開始時の妻の年齢が43歳未満である(令和4年4月1日以降に検査を開始した場合で、妻の年齢が30歳以上であれば、婚姻から2年以内の夫婦に限る)
- ② 夫婦の前年の合計所得額が730万円未満である

【助成額】

夫婦1組につき上限3万円



【問合せ】 大分県福祉保健部 こども未来課 ☎097-506-2718

大分県不妊専門相談センターのご紹介

不妊カウンセラー等が、無料で相談をお受けします。不妊治療や不育に関すること等について、お気軽にご相談ください。

【電話相談・Eメール相談】

受付時間：午前10時～午後4時(火曜日～土曜日)

【来所相談】

事前に下記問合せ先まで予約してください。



【予約・問合せ】 大分県不妊専門相談センター ☎097-586-6368
E-mail hopeful@oita-u.ac.jp

秋季全国火災予防運動

11月9日～15日

2020年度
全国统一防火標語

「その火事を防ぐあなたに金メダル」

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図り、また火災の発生を防止するとともに死者の発生を減少させ、財産の損失を防ぐことを目的とします。

日頃から、一人ひとりが火を取り扱うことに責任感を持っていただき、火災予防に努め、安心・安全な国東市を目指して火災予防思想の普及に努めてください。

住宅防火7つのポイント

3つの習慣

- ① 寝たばこは絶対にやめる
- ② ストープは、燃えやすいものから離れた場所で使用
- ③ ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す

4つの対策

- ① 就寝時の逃げ遅れを防ぐため、住宅用火災警報器を設置
- ② 寝具、衣類およびカーテンからの火災を防ぐために、防災製品を使用
- ③ 火災を小さいうちに消すために消火器を設置
- ④ お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる

もし火事が起きた時は、あなたは落ち着いて119番通報ができますか？

火事を見つけたら慌てずに近くの電話で**119**とダイヤルを押しましょう！すぐに消防署へつながります。

消防署	通報者(あなた)
消防署です。火事ですか?救急ですか?	→ 火事です。
場所を教えてください。 近くに何か目標物がありますか?	→ ○○町□□番地××宅です。 ○○町△△小学校の近くです。

場所が分かれば消防車はすぐに出動しますので、落ち着いて正確な場所をお伝えください。

消防署	通報者(あなた)
何が燃えていますか?	→ 家が燃えています。 (畑が燃えています。車が燃えています。)
ケガをした人や、逃げ遅れた人はいますか?	→ ○○さんと連絡が取れていません。
あなたのお名前と 今かけている電話番号を教えてください。	→ 国東太郎です。 0978-○○-○○○○です。 (090-○○○○-○○○○です。)

国東市消防署では目や言葉に不自由な方でも、火事や救急の際にメールやFAXを使って消防署へ通報することができるように対応しています。

これから空気が乾燥し、寒い季節を迎えます。火事を起こさないように日頃から火の取り扱いに注意し、住宅用火災警報器の点検をするなど防災意識を高めましょう。

2020年1月から9月30日までの出動件数

火災出動は

23件

昨年同期は19件



救急出動は

1,032件

昨年同期は1,086件



救助出動は

15件

昨年同期は11件



【問合せ】 国東市消防本部 ☎0978-72-1101